



第 33 号

発行
富士市消防団

富士市永田町1丁目100番地

電話 (0545) 55 - 2851

(0545) 55 - 2852

FAX (0545) 53 - 4633

消 防 団 長 挨 拶

富士市消防団長 渡 邊 明 夫



平素より、富士市消防団にご協力いただきありがとうございます。

消防団は、普段、様々な仕事に就いている人たちが、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、火災・風水害・震災時に消防団員となり消防活動を行う非常備の消防機関です。

構成員である消防団員は、プライベートな時間を使って消防団活動をしており、「地元を守りたい!」というボランティア精神のもと、日々の訓練に従事しています。

消防団は、地域の地理や事情に精通しているため、災害時には素早い対応が可能です。その地域に住んでいる住民であるからこそできる消防活動があり、混乱した災害の場においてはその貴重な情報が活かされます。火災はもちろん、近年多発する風水害や近い将来に心配されている南海トラフ地震に備え、皆様の最も身近で頼りになる存在となれるよう、これからも一生懸命に活動してまいります。

富士市消防団では、我々と一緒に「地元を守りたい!」という皆様の入団をいつでも歓迎しております。このたよりをご覧いただき、少しでも消防団にご理解とご興味を持っていただければ幸いです。

富 士 市 ま と い 会

富士市まとい会 会長 天 野 昇

令和4年度「富士市まとい会総会」で後藤会長の後任として第18代会長に就任しました富士市消防団第30出身の天野昇です。

私が旧富士川町消防団の副団長時に富士市と富士川町の合併があり、合併に伴う消防団結団式が富士市役所駐車場で開かれました。元団長の山本信英様、副団長、団本部の皆様方に大変お世話になり感謝しております。

まとい会は消防職団員のOBで組織されており、現在76名の会員がおります。活動内容として消防団への支援協力、消防まつりのバザー出店、出初式での甘酒配布、富士市災害ボランティア連絡会の会議や防災活動への参加があります。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、まとい会行事の大部分が中止や延期となってしまいました。1月の富士市消防出初式は盛大に行われましたが、新型コロナウイルス感染症が1日でも早く収束することを願っています。

結びに、富士市消防団の益々の発展と団員の皆様方の御健勝と御多幸を心よりお祈り申し上げます。私からの挨拶といたします。



新 人 団 員 の 抱 負

第 1 方面隊

安全安心なまちで

第25分団 団員 小 野 泰 正



第25分団 団員
小 野 泰 正

富士市は自然に囲まれた、海もあり、山もあり、水も豊かで岩盤も硬いところが多い、住みやすく、自然豊かな素晴らしい住環境です。

一方で、海から山までの多岐にわたる災害想定をしなくてはならない場所に住んでいるとも思っています。

近年は、富士山噴火を想定したハザードマップの改定、近年の豪雨災害など身近な大きな災害が激甚化しています。なおかつ、地

域防災も少子高齢化が進むにつれて人員不足や体制の見直しが言われ始めました。

その中で少しでも地域防災に貢献するために、消火・防災・救命技術の向上に取り組み、不慮の災害に立ち向かえるようにしっかりと備えたいと思います。地区防災組織と共に、地域の防災の要として働けるよう消防団活動を行っていきたいです。「備えよ常に」で取り組む所存です。

第 2 方面隊

新入団員としての抱負

第6分団 団員 渡 邊 開



第6分団 団員
渡 邊 開

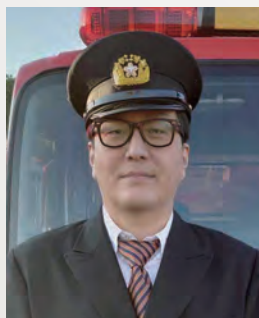
私が消防団へ入団させて頂いたきっかけは、数年前、隣の家で火災が発生した際、消防団員の方々の消火活動をしてくださる姿に感銘を受けたためです。私も消防団活動を通じて、地域貢献をしていきたいと考え、入団させて頂きました。

新入団員研修を受講した際、訓練礼式の指導を受けました。消防団活動は集団での活動であるため勝手な行動が自身だけでなく仲間の安全を脅かすことになるので非常に重要だと感じました。まだまだ動作がぎこちな

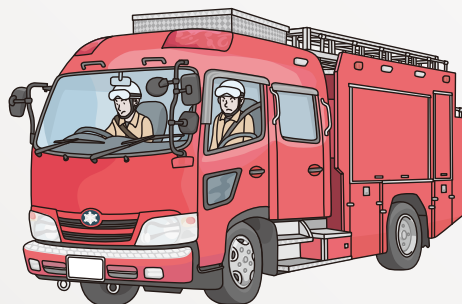
いので、きびきび動けるようになりたいです。

入団当初は緊張していましたが、分団の先輩方が気さくに接して下さい、いざ訓練となると、きびきび取り組まれる姿を見て、入団して良かったと感じると同時に、自身も成長し、早く一人前の消防団員になりたいと思います。

初めて活動服を着たとき感じた、身の引き締まる思いを忘れずに、富士市消防団員の一員として恥ずかしくないよう精進してまいります。



第6分団 団員
岩 田 洋 佑



第3方面隊

夢への第一歩

第8分団 団員 植松凛々

第8分団 団員
植松凛々

私は、高校生の冬、友人を交通事故で亡くしてしまいました。今まで感じた事のない絶望感と同時に命の儚さと尊さを実感し、人の命を救いたいという気持ちが芽生えました。高校生活の中で思いは強くなり、緊迫した最前線の現場に駆けつけ、豊富な知識と技術で処置を行う救急救命士になりたいと考えようになりました。高校卒業後は、救急救命士を目指して県外にある専門学校に通い、関連した知識や技術を習得しました。しかし、昨年度の就職試験では消防の職に就くことはできませんでした。でも、諦めていません。一日でも早く消防の仕事に携わりたいと思い、愛着のある地元に帰り消防団への入団を決めました。今も、仕事をしながら夢の実現に向けて歩み続けています。

消防団では、はじめに新入団員教育を受けました。例年は富士市役所へ全分団の新入団員が集まって開催されるそうですが、コロナ禍の状況もあり、今年は各分団で実施されました。消防団の先輩から、消防車の点検方法や機械器具の説明をはじめ、火災があった時の活動内容を学び、地域貢献の大きさを改めて実感することが出来ました。

これからも、消防団員として様々な経験を積みながら、将来の目標に向かって努力を続けたいと思います。消防団への入団を決意し、夢への第一歩が踏み出せました。

第10分団 団員
磯部新第10分団 団員
古屋駿第10分団 団員
島田大志第10分団 団員
米山陽貴第10分団 団員
鈴木裕太

第4方面隊

消防団への入団とこれからの思い

第19分団 団員 まる やま ひさ つく 丸 山 久 嗣



第19分団 団員
まる やま ひさ つく
丸 山 久 嗣

私が消防団に入団したのは団員の方から入団のお誘いを頂いたことがきっかけになりました。私は自営をしております様々な活動との両立が出来るのか不安でしたが「みんな、出れる時と出れない時があります。仕事も生活もある中で活動しているのだから。」という言葉をいただき自分なりの活動が出来れば良いと思い入団しました。

今後チャレンジしていきたいことは、毎月行っている車両点検方法の習得、大型ポンプ車の運転技術の向上、放水操作の手順の習得などであり、どれも一つ一つを丁寧に覚えていきたいと思っています。

このような中、9月に富士川地区で発生した火災の際、家の前をサイレンとともに一番早く走り去った19分団のポンプ車。それを見た瞬間、他人事ではない何か使命感というのか、地域のために「やらなければ！」という気持ちになりました。

また10月にある投げ松明。自営を始めてからあまり貢献できていなかったので消防団として少しでも役に立てるようにしていきます。

ボランティア活動になりますが地域のため自分のために精一杯頑張って長く続けていきたいと思っています。

第5方面隊

新入団員教育を体験して

第26分団 団員 なが しま あき ひろ 永 嶋 明 宏



第26分団 団員
なが しま あき ひろ
永 嶋 明 宏

町内の会合で「消防団員をやる人がいないから入ってくれないか?」と、先輩の団員に声を掛けて頂いたことが、私が消防団に入団するキッカケでした。

それから家族に相談をしましたが、反対の意見が多く自分自身でもやっていけるかどうか正直なところとても不安でした。こんな私でも 多少は 社会貢献ができるならと思い、入団を決意しました。

新型コロナのこともあり日程がずれ込んでしまいましたが、第5方面隊で新入団員教育を受けさせて頂くことになりました。当日は規律訓練から始まりましたが、これは団体行動と団結力を高めて、火災等の現場でもすばやく正確に行動ができるための第一歩だと感じました。次はホースや小型ポンプ、ポンプ車の使い方を教えて頂きました。ホースの展張は簡単のように見えたが、自分がホースを伸ばすとうまくできませんでした。たった一本のホースですが、持ち方や展張の仕方、接続部の扱い方、二重巻の方法など習

いました。

そしていよいよポンプを作動して放水です。水利は近くの川を使いました。そこでも水を取り入れるために、吸管的投入には向きがあることを初めて知りました。

ポンプには計器やバルブが沢山あり、必要な計器を見ながら放水の圧力が最適の状態になるように調整しなければいけません。放水後も次回のことを考えてしっかりと整備点検をしなければいけませんでした。

様々なことを習った新入団員教育でしたが、一つの行動が次の行動のためであったり、安全に安心して行動できるためであったりと、全てのことが関連していてとても納得できる体験でした。

実際には火災や災害が無いことが一番ですが、万が一の時は人命や財産を守る団員になるように日々の努力を重ね、地域のためにやっといこうと強く思いました。

最後に新入団員教育に関わってくださった皆様、どうもありがとうございました。



第17分団 団員
みず の はる き
水 野 晴 葵

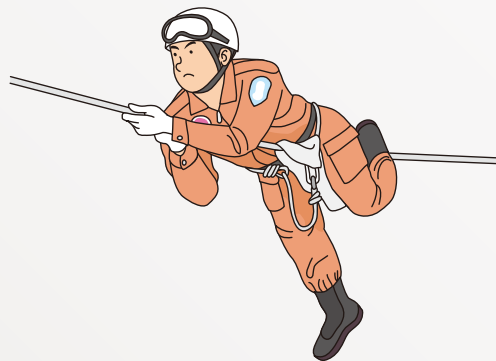
第6方面隊

地域貢献と地域の繋がりを作るために入団 第21分団 団員 河野 奨平

第21分団 団員
河野 奨平

妻の地元である富士市に移住し数年が経ち、土地勘や交友関係が気薄でどこか物足りなさを感じていました。そんな時、ふとしたきっかけで消防団のお誘いを受け「地域の方と繋がれる良い機会だと」入団を決意

しました。現在は単身赴任中のため可能な限りの参加にはなりますが、団員の皆さんにも温かく迎え入れて頂き楽しく参加出来ています。訓練などで多くを学びながら少しでも地域に貢献したいと思っています。

第22分団 団員
渡邊 亮介

第7方面隊

消防団に入団して

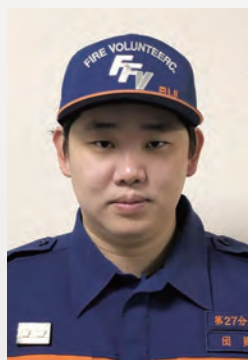
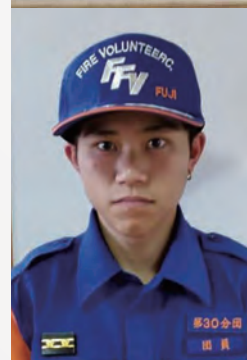
第28分団 団員 蓼 佑貴子

第28分団 団員
蓼 佑貴子

私が消防団に入団したきっかけは当時分団長の杉尾さんに誘われて消防団に入りました。誘われたときは消防団はどのような活動をしてるのか全く知りませんでした。私の同級生がすでに消防団に入っていたので、一緒に出来るならやってみようかなと思いました。

消防団に加入してすぐに新型コロナウイルスの感染が流行ったため、消防団での活動はまだあまり参加した事ありません。先日、新入団員教育に参加させてもらった

際、いろいろな事を同じ分団の先輩たちに教えて頂きました。まだ慣れないことやわからない事が多いですがこれからいろいろなことを学び、地域貢献できるよう積極的に訓練やイベントに参加していきたいと思っています。また、消防まつりなどのイベントを通していろいろな人に消防団の活動などをもっと知ってもらえたらと思います。そのためにももっと自分自身も消防団の活動について学んでいきたいです。

第27分団 団員
佐野 大第27分団 団員
松崎 司第30分団 団員
滝 正浩第30分団 団員
田上 裕也

富士市消防団は 31の分団があります。

消防団は地域ごとに7つの方面隊に分かれています。
あなたのお住まいの地域やお勤め先は何分団が守っているのか？
ぜひこの機会に地域の消防団について理解を深めてみましょう！



第1方面隊

所属分団:第1・2・3・25分団 団員数:106人 管轄地区:吉原・伝法・広見・青葉台
消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署、大淵分署



コロナ禍の防災訓練

第25分団 係長 鈴木 信一

12月4日(日)、令和4年度地域防災訓練に併せ町内の防災訓練を実施しました。

晴天に恵まれた反面コロナウィルスの蔓延は暗雲模様を挺しているかの様に増えていて、今年の町内の防災訓練は各組の前年度今年度来年度組長で訓練を行い、全員参加とはしませんでした。

各自の役割は年度初めにあらかじめ決められているので、事前に役割ごとのマニュアルを用意して市のサイレンを合図に公会堂に集合してから訓練を始めます。今年度の組長さんは安否確認の黄色い旗もしくは目印を確認後公会堂へ集まります。

自分は消火班担当のため、防災用具の運び出しと設置の手伝いの後消火班の人数確認をしてから消火栓の点検を行いました。

人手が少ない状態での訓練のためマニュアル通りには行きませんが、足りない物や修正点などを洗い出すには回数をこなさないと成らないので、中止にせず滞りなく行えたことは良かったと思います。

ただ言えることは災害が起きたとき、コロナウィルスの様な感染症に怯えることが無い状態であることを切に願いました。

第2方面隊

所属分団:第4・5・6・7・12分団 団員数:144人 管轄地区:今泉・原田・富士見台・神戸・青葉台・大淵 消防車台数:5台 最寄り消防署:中央消防署、富士見台分署、大淵分署



海岸清掃に参加して

第5分団 班長 岡田 正樹

10月9日、富士市消防団ボランティア活動で海岸清掃を実施しました。31の分団から約150名が参加、富士市マリンプールと田子の浦みなと公園の2カ所に分かれてゴミ拾いを開始しました。今回初めて参加し、これだけ人がいればゴミ袋が一人一袋あれば十分かなと考えていましたが、海岸に行くとゴミがあるわ、あるわ。特に多いものがペットボトル、次に発泡スチロール。中にはペットボトルが劣化して、握むと碎けるものもあり、これらが碎けて細くなりマイクロプラスチックになって海洋生物に影響を与えているんだと実感しました。また、割れたガラス瓶等が落ちていて、踏んだら大怪我間違いなしという物もあり、これでは安心して子供を遊ばせることも出来ないと思いました。

海岸に限りませんが、ゴミを捨てない、ゴミは持ち帰ることを実践し、子供達が安心して遊べる地域にしたいと思いました。



第3方面隊

所属分団:第8・9・10・11分団
吉永北 消防車台数:6台団員数:110人 管轄地区:吉永・須津・浮島・元吉原・
最寄り消防署:吉永分署、臨港分署

火災現場での救命活動

第8分団 団員 仁藤 貴敏



長時間にわたる消火活動のさなか、私の背後でガタン！と大きな物音がしました。振り返ると消防団員が倒れ、身動きができない状態でした。

近くにいた消防団員が駆け寄り、声かけや意識の確認、ヘルメットのおご紐を外して気道の確保、救急隊への連絡など、消防団員が自主的に動き迅速な対応が行われました。

私は初期対応に当たりながら、以前に父が倒れた時を思い出しました。父は心筋梗塞で倒れ、私は救急車が来るまでの間、「大丈夫だから、すぐに救急車が来るから」と声をかけ、励ますことが精一杯でした。幸い父は一命をとりとめました。今後は適切な処置ができるように、消防団に入って心臓マッサージやAEDの使い方など救命方法を学びました。

父が倒れた時は、声掛けに反応がありました。しかし、今回は意識はあるものの目線が定まらず、問いかけに反応はなく、息が吸えていない状況でした。救急車が来るまでの間にどうすべきか考えました。

「息ができない…、脳が機能していない…、心臓から血液が送られていない…、心臓だ！」

生身の人へ心臓マッサージの経験はありません。怖さはありません。ただ、やらなければ救えない。自然と体が動きました。心臓マッサージを始めてしばらくすると、救急隊が到着。救急隊の処置と併行して、消防団員で交代しながら心臓マッサージとAEDを何度も続けました。その後救急車で搬送されましたが、帰らぬ人となりました。

その日以降、私は自分の初期対応が正しかったのか不安もあり、その時の状況が頭から離れず眠りの浅い日もありました。

そんな様子を知って、救急隊経験者の方がカウンセリングの時間を設けてくれました。その中で、処置は適切だったこと、そして火災現場で大変だったことは、仲間に話して気持ちを分かち合うことが大切とアドバイスを頂き、気持ちも落ち着きました。また、現場に立ち会った仲間達も励ましや労いの言葉で支えてくれました。

命と向き合う、そんな場面もあります。だけど、支えてくれる頼もしい仲間がたくさんいます。消防団員になって、人の為に、地域の為に活動が出来て、素敵な仲間が私の宝物です。39歳で消防団に入って11年。現在は様々な経験を活かしながら、応急手当普及員として、心臓マッサージやAEDの使い方などを地域の方に広める活動をしています。

もし、人の為に何かしたい。災害が起きた時に人の為になりたい。そんな気持ちが少しでもあれば、一緒に消防団で活動してみませんか？

あなたの勇気ある一歩をお待ちしています。



第4方面隊

所属分団:第13・14・15・19・20分団 団員数:114人 管轄地区:富士駅北1・2、富士北、岩松、岩松北 消防車台数:5台 最寄り消防署:西消防署



富士市消防団 海岸ごみ拾い 実施について

第14分団 班長 古郡 敏明

令和4年10月9日(日)、私は富士市消防団で初めての試みとなる「海岸ごみ拾い活動」に参加しました。私自身これまで清掃活動や環境問題にあまり関心がなかったのですが、まずは自分の出来ることをやってみようと思い参加を決めました。

場所は田子の浦みなと公園の海岸付近でした。海岸沿いに、ペットボトル、アルミ缶、レジ袋などのビニール、バーベキュー後に放置されたと思われる紙皿など、多種多様なごみが散乱していました。想像していた以上の量があり、一緒に参加した分団員と必死で分別作業を行いました。

その中で感じたことは、私たちの日常生活とごみ問題は切っても切り離せない関係にある、だからこそ一人一人が真剣に取り組まなければならないということです。生きている以上、ごみが出るのは仕方のないことです。毎日ティッシュは使うし、食品の包装ビニールや肉のトレーは捨てなければなりません。

しかし、私たちはそこで出来ることがあります。正しい分別と正しいごみの出し方を守る事です。適切な分別をし、ルールを守って収集場所にごみを出せば、多くの物はリサイクルされます。一人一人がそのことをもっと意識して行動すれば、ごみのポイ捨てや放置は少なくなり、海岸や町の美化につながるはずだと思いました。

これを機に、私自身も自分の行動を見直しながらかごみ問題をはじめとする諸々の環境問題に関心を寄せていきたいです。



第5方面隊

所属分団:第16・17・18・26分団 団員数:76人 管轄地区:富士駅南、田子浦、富士南 消防車台数:4台 最寄り消防署:南分署



久しぶりに開催された消防まつり

第16分団 班長 勝亦 祐介

令和4年10月30日に、富士市中央公園広場にて、第36回富士市消防まつりが行われました。

コロナ禍で3年振りの開催となりましたが、例年市役所で行われていた祭りも開催場所が中央公園に変更になり、出店も各分団が方面隊毎に変更になったりと新しい試みでの開催となりました。

私の所属している第5方面隊では、地元田子の浦で昔から愛されている、かねます商店さんの「はんぺん」や「カレーだんご」などの水産加工品の販売をしました。とても売れ行きが好調で、あっという間に完売してしまいました。

他にも子供向けのバルーンアートや、くじ引き、ストラックアウト、地域ごとの特産品を販売している所もあり、子供から大人までとても楽しんでいました。また消防車両の体験乗車や、幼稚園児のみんなによる演技、音楽隊などのステージ、芸人さんによるステージなど、どれも素晴らしかったです。来年も色々計画して、今年以上に盛り上がれたら良いなと思いました。



第6方面隊

所属分団:第21・22・23・24分団 団員数:85人
 消防車台数:4台 最寄り消防署:鷹岡分署

管轄地区:鷹岡、天間、丘



消防団員になって思う事

第22分団 団員 木村 公彦

地元に戻って15年、消防団に入団して4年が経ちました。

入団のきっかけは町内会長から「入ってくれないか？」の一言でした。当初、深くは考えていませんでしたが中学生の時、祖母の家が火災にあい当時の消防団の方々が尽力された事を知り「自分も頑張ってみよう！」と思い、立ち上がりました。

入団してからの活動は普通に生活していたら経験さえもしない、新たな扉を開けてしまったかのような、貴重な経験の数々でした。初めて筒先を持たせて頂いた時の衝撃は今でも鮮明に憶えています。

不思議なもので、現場で筒先を持つと前に足が出て行きます。先輩から「気持ちはわかるけど、前に出すぎない様に」と注意を受けた事があります。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、防災訓練をはじめ様々な行事の中止にあい経験不足を痛感しています。

また、ラッパ隊への入隊や消防団員募集活動にも取り組み、いろんな経験をさせて頂いています。もっと早く入団していればと思う程です。

諸先輩方やさまざまな人たちとの繋がり、地元の方々とふれあい、防災に対する考え方、入団して素晴らしい事が分かりました。

富士市消防団は団員の不足を抱えています。私のように、新たな仲間や経験、取り組みたい事が欲しいと思う方々。私たちと一緒に、地元を守ってみませんか？そこには自分も居て、たくさんの仲間と一緒に守ってくれます。消防団は自分を成長させてくれるボランティア団体です。



入団問い合わせ
各種QRコード

入団等の問い合わせは

富士市消防本部 消防総務課 TEL 0545-55-2852
 E-mail:syoubou_soumu@div.city.fuji.shizuoka.jp



富士市消防団
入団電子申請



facebook
(富士市消防本部)



Instagram
(富士市消防本部) (富士市消防団)



Twitter
(富士市消防本部)



Youtube
(富士市消防本部) (富士市消防団)

第7方面隊

所属分団:第27・28・29・30・31分団
南松野、北松野 消防車台数:5台団員数:109人 管轄地区:中之郷、岩淵、木島、
最寄り消防署:富士川分署

富士市北松野地区火災出場について

第31分団 分団長 松井 正彦

まだまだ春には遠い極寒の日の、皆がまだ寝静まっている早朝に、市の公報より火災出場の要請があり、松野地区を担当する、30分団と31分団が出場しました。最初、地図上での場所がよく判らず、戸惑いながらも主要地方道富士川身延線沿いにある、出火地点に到着しました。

当該地点は、住宅地から少し離れた、地方道沿いに工場が数軒隣接する場所のため、近くに水利がありませんでした。そこで、一番近くの消火栓に、富士宮市消防本部の応援車両に入って戴き、そこからホース9本を連結し31分団のポンプ車に中継しました。そこから31分団は24本のホースを連結し、富士市消防本部のタンク車へ中継しました。その際、31分団のポンプ車にはホースが20本しかなかったため、30分団にホースを4本借りて処理しました。ホースを24本も連結して消火活動することは今まで経験がなく、正直、とても大変でしたが、出場人員18名で、ホースを連結作業する人員と、警備する人員とに分かれて、迅速に作業することができたと思っています。

そして、出火元が資材置き場の木材からだったため、消火には時間がかかりました。そのうちに夜が明け、市民の方々の出勤時間となってしまう、渋滞が発生し、交通整理も大変でした。自動車が消火ホースを跨いで通行するために必要な、ホースブリッジも不足してしまい困りましたが、30分団と協力して対応しました。今後、備品数についても検討していきたいと思います。

実際の放水時間は90分余りでしたが、出火元が木材のチップの山のため、いつまでもくすぶっていました。現場を片付け、詰所に着いたのは出場から4時間以上にもなり、団員皆、疲労感はありませんでしたが、地区のために頑張りました。



令和5年 富士市消防出初式

令和5年1月8日(日)

富士市役所北側駐車場での消防出初式が3年ぶりに開催されました。当日は、式典、分列行進、ドリル演奏、消防演技が行われ、多くの市民の皆様に来場していただきました。



出初式が屋内開催の場合、放映される予定であった動画を富士市消防団と富士市消防本部の公式YouTubeチャンネルで公開していますので、ぜひご覧ください。



Youtube



令和3年度 消防庁長官表彰

- | | | |
|-------------------------|----------------------|----------------------|
| ① 小山 貢
(こやまみつぎ) | ① 増田 憲昭
(ますだのりあき) | ① 永戸 俊光
(ながととしみつ) |
| ② 職:方面隊長 | ② 職:副団長 | ② 職:副団長 |
| ③ 第6分団 神戸、
今宮、富士見台地区 | ③ 第9分団 須津、
浮島地区 | ③ 第17分団 田子浦地区 |
| ④ 35年11月 | ④ 36年11月 | ④ 34年10月 |

①氏名 ②経歴 ③出身分団所在地 ④消防歴



小山貢 方面隊長 増田憲昭 副団長 永戸俊光 副団長



FUJI RED FAIRY

カラーガード隊 隊員募集中

連絡先

富士市消防本部消防総務課
☎0545-55-2851

興味がある方、見学希望の方はぜひお気軽にお問い合わせください。

富士市消防団協力事業所表示制度

事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度で、複数の従業員を消防団員として入団させている事業所や、水火災等の災害時に事業所の資機材を消防団に提供する等の協力をするなど、消防団活動に積極的に協力している事業所その他の団体に対して、消防団協力事業所表示証を交付します。

また、認定を受けた事業所は、取得した消防団協力事業所表示証を敷地、建物等に表示できる他、パンフレット、チラシ、事業所ウェブサイト等にてPRすることができ、事業所のイメージアップにもつながります。



富士市消防団協力事業所の紹介

令和5年1月1日現在

1 トラック(株)	13 (株)大善工務店	25 サンコー防災(株)	37 (株)YOSHIKAN
2 (株)三和工務店	14 (有)池田自動車工業	26 税理士法人IBS富士事務所	38 ナーセリーイデ
3 (有)佐野商事	15 山本土建	27 (株)加々美	39 佐野文彦(不動産業)
4 佐野晶彦(不動産賃貸業)	16 桑原左官工業	28 (株)司技研	40 (有)佐野自動車工業
5 平松建築	17 静岡日野自動車(株)富士営業所	29 (有)ヤザキ総合エクステリア	41 (株)伊藤電気
6 深沢消防産業(株)	18 シンセア環境サービス(株)	30 (株)ブレーン	42 (株)一商会
7 (株)川嶋組	19 (有)大塚技研 第2工場	31 和田建設(株)	43 (有)アカイケ家電
8 影山モータース	20 (有)飯田電設	32 (株)イチエイ	44 富士信用金庫
9 田中豊工業	21 (株)西尾組	33 (有)三浦電気	45 大久保電気工事
10 (有)堀野紙工	22 (株)佐野総業	34 (有)秋山配管工業所	46 (株)翔栄電工
11 (有)増田製袋	23 遠藤建設(株)	35 松本工業(株)	47 認定こども園 曙幼稚園
12 三晃堂鍼灸治療院	24 (株)富士の国 渡邊農園	36 junprogresso(ジュンプロGRESS)	

※登録順

富士市町内会 連 合 会

消防団に入ろう

富士市町内会連合会 会長 荻野 克雄



日頃より、地域で活躍している消防団の皆さん、本当にありがとうございます。自分の家庭や仕事がありながら、いざという時に直ぐに出動できる体制を整えるのは、自身の強い使命感と家族の協力があってこそだと思います。

阪神淡路大震災では、淡路島の消防団による日頃のこまめな地域訪問があつて、最低限の被災で済んだという事例を聞きました。自分の住む地域は自分たちで守る「自助・共助」が何よりです。多くの消防団員が、積極的に地域に溶け込んで活動している所では、住民が安心して生活できます。

誰も置き去りにしないというSDGsを実現するためにも消防団員に期待することはたくさんあると思います。団員同士仲良く、楽しく集まれることも大事ですし、その仲間を増やすことも次世代につなぐことも必要なことだと思います。

今は女性の団員も増えていて大変頼もしく思います。これからの益々の活躍を大いに期待します。富士市民の皆さん、地域の安全安心を守る為に地域の消防団に入団してください。

富士市女性消防団員連絡協議会

富士市女性消防団員連絡協議会 会長 大久保 規子

富士市女性消防団員連絡協議会が発足して今年で3年目ですが、コロナ禍での発足だったため、集まることさえできない時もありました。

思うように活動が出来ず、今年度はどうしたら良いだろうと考えていた矢先、消防団員募集PRのためのグッズを作ってはどうか？それを協議会で話し合つてはもらえないかとの提案を頂きました。それも富士宮市の女性消防団員の方たちと「静岡県消防協会富士支部」という括りの中で話し合う機会を頂く事が出来ました。

令和4年10月末現在の段階での報告となりますが、富士宮市の女性団員の皆さんと話し合いを重ね、PR配布用にエコバッグを作成中で、サンプルが先日出来上がってきたところです。令和5年1月開催予定の「富士市消防出初式」にて配布予定を目標にしています。

富士宮市には「さくやちゃん」というキャラクターがいるのに対し、富士市には消防団として使える市独自のキャラクターがいなかったため、富士市公式Instagramキャラクターの「さもにゃん」とのコラボを熱望し、イラストレーター様のご厚意もあつて、「さもにゃん」の消防団バージョンを描き下ろして頂きました。

ちなみに、「さもにゃん」のネーミングは、富士市の方言「さもにゃ〜」(「たいしたことないよ」の意)からきているそうです。

今回作成中のエコバッグは、富士宮市の「さくやちゃん」と共に、富士市の「さもにゃん」(消防団バージョン)が仲良く並んでプリントされた物を配布出来る事となりそうです。

コロナ感染防止対策をしながらの、限られた中での活動ではありましたが、友好を深めながら、皆で一つのもので作り上げていく楽しさが感じられた活動でした。



編集後記

消防団だよりを発行するにあたり、団員及び、団員ご家族様、また関係団体の方々には多数の寄稿をいただき厚く御礼申し上げます。

そして日頃の消防団活動に対し、多大なご理解、ご協力を賜りこの場をお借りして感謝申し上げます。

我々消防団は地域密着型の防災組織として、今後起こりうる大災害に対応出来る様、これからも日々の訓練に励み、益々多様化する災害に対し、迅速かつ適切に対処できる知識と技術の習得に努めて参ります。

結びにこの消防団だよりが団員各位の意識高揚とさらなる団結心が養われる事を祈念すると共に、団員確保に向けた取り組みに繋がる事が出来る様、これからも紙面作りに努力して参ります。

今後ともご支援ご協力の程よろしく願いいたします。

広報紙編集委員長

富士市消防団広報紙編集委員会

委員長

団本部 第7方面隊長 杉尾 雄司

副委員長

団本部 副総務部長 鈴木 秀夫

委員

第25分団 係長 鈴木 信一

第4分団 班長 佐野 晶彦

第8分団 団員 仁藤 貴敏

第13分団 係長 福島耕一郎

第26分団 係長 齋藤 勝正

第23分団 団員 遠藤 孝浩

第31分団 団員 佐田 広明